

2. 運送会社

1) 情報共有の促進

- ▶ 運送便情報、到着予定時刻、積込順等の情報を事前に提供してください。
- ▶ 混雑が予想される日や時間帯に到着予定の場合は、冷蔵倉庫側と事前に協議調整をしてください。
- ▶ 代車連絡は寄託者経由で確実に実施してください。

2) オーダー不一致の解消

- ▶ 運送オーダーと入出庫オーダーの事前照合を、冷蔵倉庫業者と運送事業者間の業界横断的な取り組みとして推進していきましょう。
- ▶ 接車後の追加や変更については、車両待機時間長時間化の一因となるので、原則として受けられない旨、冷蔵倉庫側とともに荷主に対して対応をお願いします。

3) 手荷役の削減

- ▶ パレット規格の統一化など、手荷役解消のため、ユニットロード化の研究と促進にご協力をお願いします。

4) ダメージ品基準の認識と取扱方法の統一

- ▶ ダメージ基準の認識相違により生じている無駄な確認時間を削減するために、荷主・運送会社・冷蔵倉庫の基準と取扱方法の統一化を推進しましょう。

5) 事前問い合わせと予定連絡のお願いと倉庫側導入のバース運用方式への理解と協力

- ▶ 倉庫の時間当り作業能力には限界があります。従って作業が集中すると待機して頂くことになります。これを避けるためににも事前問い合わせや予定連絡、又は予約をお願いします。
ただし、現状では予約を受け付けていない冷蔵倉庫が大半です。
予約の仕組みについては、今後、普及させていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。
- ▶ 小口/大口バース、トラック予定・予約管理等、倉庫が導入するバース運用方式へのご理解とご協力をお願いします。